

第21回総会並びに研究集会を、戦国の歴史を勇猛果敢に駆け抜けた武将、織田信長、生誕の地、岐阜で開催致しましたところ、全国各地から77名と、かつて無い多くの同志の皆様に、お集まりをいただきましたこと、誠に心強く感激をしております。先ずは、この喜びをともに分かち合いたいと思います。

この会の開催にあたり、昨年の東京大会以降、準備を積み重ねて来られた、岐阜県アド協議会の皆様に先ずもって御礼申し上げます。(一礼)

そして、公務ご多用の中、私達をいつも応援して下さいる岐阜県環境生活部長 様、我々の同志であり全国青少年育成県民会議連合会の副会長の松原登様、

のご臨席をいただき、激励いただきますこと、厚く感謝申し上げますと共に、今後とも、ご指導・ご支援賜りますことを、心からお願い申し上げます。

又、この後(あと)、アドバイザーとして多年、青少年の健全育成運動に尽くされた功績により、表彰を受けられる皆さん。おめでとうございます。

今回の受賞を新たな出発点として、更なるご精進を重ねられ、益々のご活躍を期待しております。

さて、私は昨年、両声帯手術の為、殆ど声が出ず、伊藤副会長に代読いただいて、本会、結成20年を記念する東京大会は、我が国の現状をシッカリと見つめ、これまでの運動を総括して「我々の運動は、本当にこのままで良いか!」と、問い直し、「社会の一員として、逞しく生きぬく力を備えた、青少年の育成」をめざして、新たな運動の出発点とすべき、極めて重要な大会であります。

かけがえの無い、私達の宝である、子ども・若者たちが、家庭や地域・社会の中で、瞳(ひとみ)を輝かせ、未来に希望を持って生きることのできる、社会づくり・国づくりの為に、自(みづか)ら、内なる闘志を燃やし、その志(こころざし)を切磋琢磨しあい、新しい決意と希望に燃える20回大会となりますことを、心から祈念して、開会のごあいさつと致します。」と申し上げ、運動方針並びに事業・予算計画を決定頂き、新たなスタートを切りました。

早いもので、あれから一年。皆さんと共に、努力に努力を重ねてきた、この28年度を振り返り、その結果を踏まえて、今年度の目標・計画を定める重要な岐阜大会を迎えました。

今年も、総会で決定する運動方針や事業計画をいかに実践するかを協議するために3つの委員会を持ち、2時間半の時間を設定いたしました。充実した議論により実践へと結びつけて下さることを期待しているところであります。

また、具体的な取り組みを進めるために、事例発表を行い、記念講演に学び、行動する全

日本アド連を目指す大会としております。

全てがグローバル化した我が国の課題は山積しておりますが、その解決のカギを握る重要な課題の一つに「地方創生」があります。人口の集中した都市も、減少した地方も、同様に活力が停滞し、少子・高齢化や経済・生活の格差問題を抱えております。

先般、NHKが特別番組で、「今の子供・若者は自分の存在に価値を見出すことができず、自己肯定感が弱くなり、将来への希望も持てなくなっている」と報道しておりました。

これらの問題は、現代の大人社会が作り出したものであり、その解決は、我々大人の責任で果たさなければなりません。正に、我が国の最重要課題は、青少年の育成であり、それだからこそ、これからの町づくり・国づくりは、青少年の育成を中心に据えることが、最も必要であると、考える所以（ゆえん）であります。

そのため、私達は、我づくりを積み上げて社会（まち）づくり・国づくりを！を旗印に「子どもが伸びるチャンスを活かす運動」をはじめ「青少年健全育成基本法」の制定要望運動に取り組んできたところであります。

今日と、明日の短い時間ではありますが、この一年間の運動を振り返りながら、我々の目指す目標と具体的な取り組みを審議・決定いただき、力を合わせて実践を重ね、明るい展望を開くことができますよう、心から念じて開会のご挨拶といたします。